

おおがわら

議会だより



第165号

令和4年11月1日

QRコードから議会の情報をご覧ください

大河原町議会



運動会に向けて練習中
令和4年10月3日
(大河原カトリック幼稚園)

令和3年度決算状況	②③
決算審査特別委員会質疑	④⑤⑥
町政への提言	⑦
その後どうなったあの提言	⑰
議案審議(7月・9月)	⑱⑲
町民の声	⑳

決算

令和3年度

一般会計 前年度比 2.0%増の

123億8186万9000円



避難所としての機能も併せる大中体育館が令和3年度に完成した

財政状況の健全化 確実に前進

財政健全化判断比率の状況

(単位:%)

区分	令和3年度	早期健全化基準 (国の基準)	財政再生基準 (国の基準)
実質赤字比率	-	14.64	20.00
連結実質赤字比率	-	19.64	30.00
実質公債費比率	0.4	25.0	35.0
将来負担比率	22.7	350.0	

- 赤字比率等は大河原町は該当しない(赤字なし)
- 実質公債費比率とは町の借入金返済等に充てた大きさを指標化したもの財政負担をみるための比率
- 将来負担比率とは町の財政規模に対する将来負担すべき負債の割合
- 早期健全化基準を超えると財政運営に余裕がないと判断される

資金不足比率 (単位:%)

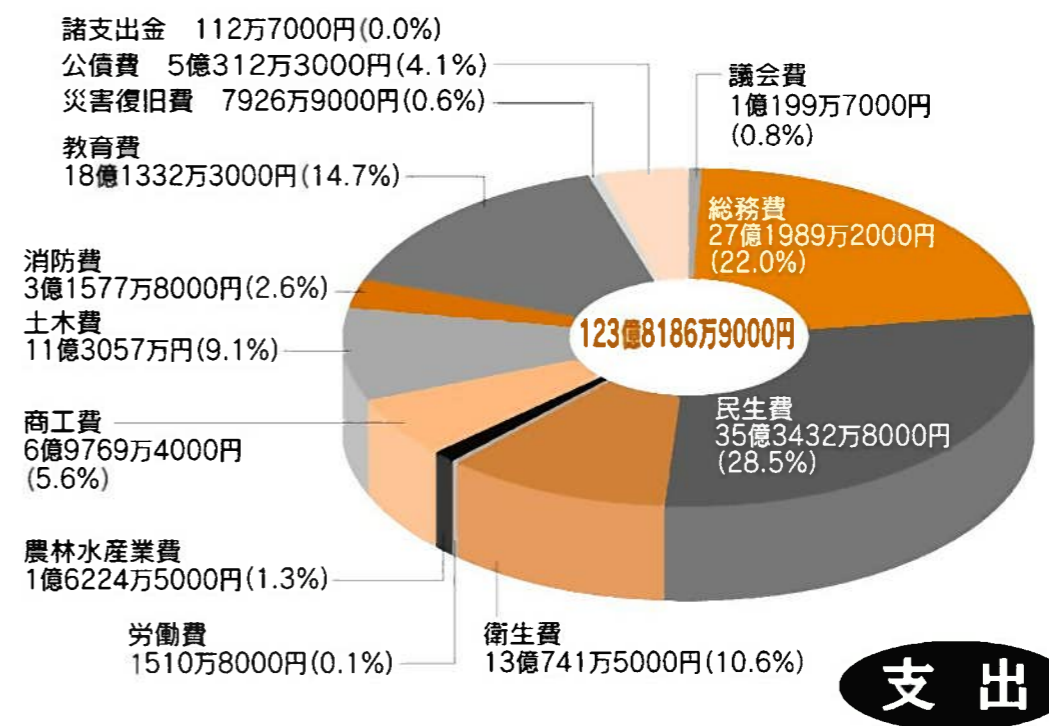
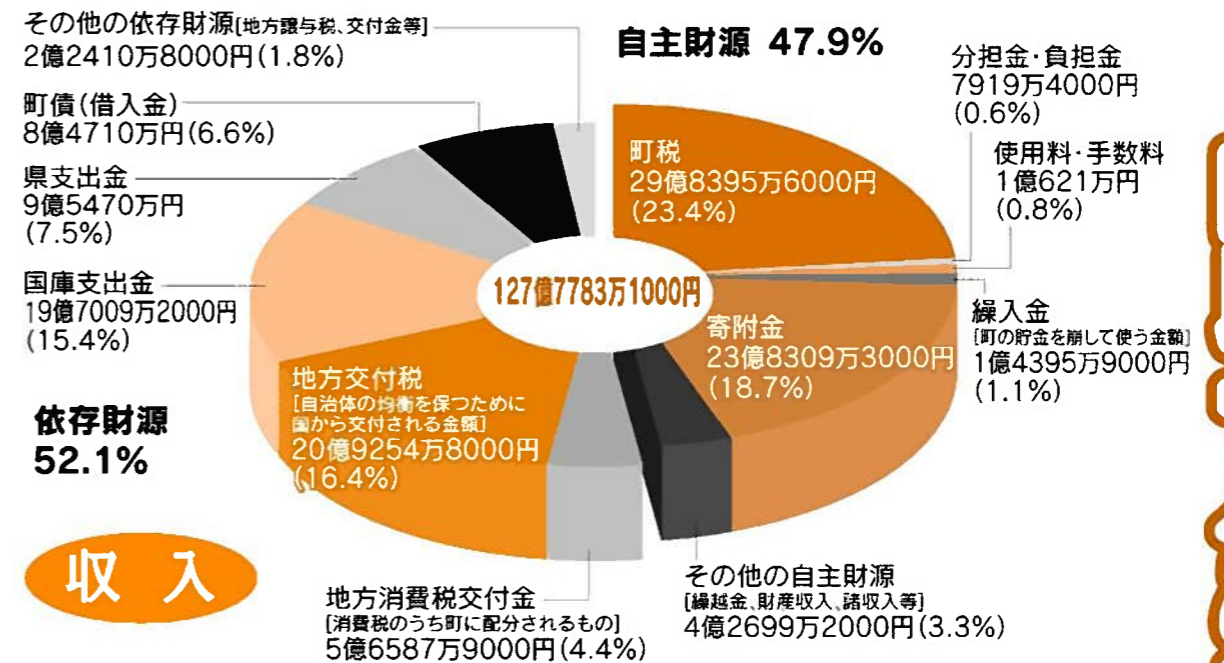
会計名	決算比率	経営健全化基準 (国の基準)
地方卸売市場事業特別会計	-	20.00
水道事業企業会計	-	20.00
公共下水道事業企業会計	-	20.00

特別会計・企業会計決算

(単位:円)

会計名	歳入	(前年度比較)	歳出	(前年度比較)
一般会計	127億7783万1000円	2.5%	123億8186万9000円	2.0%
後期高齢者医療特別会計	2億8859万5000円	1.2%	2億8184万7000円	1.3%
国民健康保険特別会計	21億2948万3000円	6.7%	20億8688万4000円	6.4%
介護保険特別会計	14億214万4000円	0.6%	13億7202万1000円	0.7%
仙南夜間初期急患センター事業特別会計	4089万円	2.0%	3803万8000円	7.1%
地方卸売市場事業特別会計	324万1000円	▲6.2%	221万4000円	▲19.4%
水道事業企業会計	収益的収支	6億8325万4000円 ▲0.2%	5億5307万6000円 ▲9.1%	
	資本的収支	3000万円 ±0	3億1993万1000円 36.6%	
公共下水道事業企業会計	収益的収支	7億7938万2000円 4.6%	6億177万5000円 6.6%	
	資本的収支	4億5886万5000円 ▲52.9%	7億3604万6000円 ▲39.8%	

一般会計



町民一人あたり約52万円使われました

決算審査

可決

活発な議論 賛成多数で

決算審査特別委員会で行われた質疑の一部を掲載（議席番号順）。決算審査特別委員会は議長（岡崎隆）、議会選出の監査委員（佐藤貴久）を除く議員で構成される。委員長（高橋豊）は議事運営のため、質疑は行わない。

佐藤 暁史

佐藤 予算書では、「要保護児童対策地域協議会委員報酬」があり、決算でマイナス修正がされているが研修会は行ったのか。それに児童虐待数が令和2年と比べて23件増加している。要因は町で把握しているのか。

子ども家庭課長

研修会は実務者会議を2回やっている。児童虐待増加の要因は、コロナ禍で外出することが出来ず、夫婦間での面前DVの増加などが考えられる。

佐藤

桜イルミネーション
ヨソ設置委託料
275万円。もともと



のやる目的と、町に対してどのような効果があると分析しているのか。イベントやトイレ設置の要望があったが、できないのか。

商工観光課長

本町の観光振興事業の一環。冬場での町への誘客を図るために考えた。より誘客を促す施策を考えていた。提案はただ

いたことは実施の際の案として協議したい。

中村 淳

ふるさと納税の多額の寄附金は、喜ばしいことであるが、逆に大河原町から他自治体への寄附はいくらあったか。

中村

紙おむつ引替え券の使える店が町内に3件あると聞いているが、私なりのモニタリングでは、足代で補助額が相殺されるから意味が無いと聞いた。利用店による配達サービスは考えられないか。

中村

紙おむつ引替え券の使える店が町内に3件あると聞いているが、私なりのモニタリングでは、足代で補助額が相殺されるから意味が無いと聞いた。利用店による配達サービスは考えられないか。

福祉課長

即答できる内容では無いので、該当店舗に相談してみ

いのか。更なる時間延長の要望は聞いていない。

佐久間 克明

遠刈田線、川崎線へのバス運行維持負担が今後も増え続け、廃線することもできないと思う。民間企業への広告掲載など町からも働きかけはできないか。

企画財政課長

今後も負担は増えると考えられている。県の協議会とも協議しており、補助してもらえる可能性もある。学生への利用周知や、広告募集は事業所が行っている。

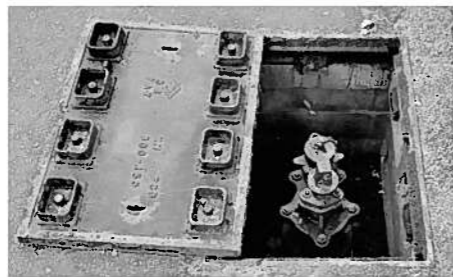
佐久間

消火栓の移設設置は地上式がなくなり地下式のみになっていくのか。地下式だと場所により路上駐車や、凍結で蓋が開けづらいことがある。誰

かと相談して決めているのか。

総務課長

基本的には地下設置する箇所は消防署と打合せを行っている。



須藤 慎

各生活センターの老朽化が進んでいるが、建て替え要望があったのか。また現状と今後について、どのように考えているのか。

副町長

建て替えの要望は届いていない。人口の減少等を考慮し、今後、生活センターを

集会所の形で位置づけることを考えていかなければならない。



須藤

虐待の種類は、身体的虐待、心理的虐待、性的虐待、ネグレクトである。児童虐待の養護相談が89件となっているが詳細は、また、面前DVの相談件数は。

子ども家庭課長

身体的虐待相談29件、心理的虐待相談36件、性的虐待相談0件、ネグレクト相談24件、面前DV相談24件。

丸山 勝利

毎年農作物有害鳥獣対策協議会に300万円負担金を支出しているが、繰越金が140万円以上ある。また、2年間新規な免許取得者がいない。わなを購入して貸し出しや、農業者の負担軽減に使用できなかったのか。

農政課長

わなの購入は依頼がなかったが、今後駆除隊と相談の上購入したい。また、わな免許取得者の負担軽減も図りたい。



いたことは実施の際の案として協議したい。

中村 淳

ふるさと納税の多額の寄附金は、喜ばしいことであるが、逆に大河原町から他自治体への寄附はいくらあったか。

中村

紙おむつ引替え券の使える店が町内に3件あると聞いているが、私なりのモニタリングでは、足代で補助額が相殺されるから意味が無いと聞いた。利用店による配達サービスは考えられないか。

中村

紙おむつ引替え券の使える店が町内に3件あると聞いているが、私なりのモニタリングでは、足代で補助額が相殺されるから意味が無いと聞いた。利用店による配達サービスは考えられないか。

福祉課長

即答できる内容では無いので、該当店舗に相談してみ

防災士資格取得支援補助で3年度は6名となっている。告示第25号第4条で補助の上限が一人5万円となっているが、合計金額に端数ができるのはなぜか。人数に誤りはないか。

丸山

1名は交通費のみ支出により端数が発生した。6名ではなく7名の間違い。

山崎 剛

理解促進研修、啓発事業で障がいのあるかたに援助や配慮を受けやすくするため、ヘルプマークとヘルプカードを配布しているが、申請者が減少している。啓発活動をさらに周知すべきと思うが、今後は。

福祉課長

町広報紙等でも周知していく。



大沼 常次

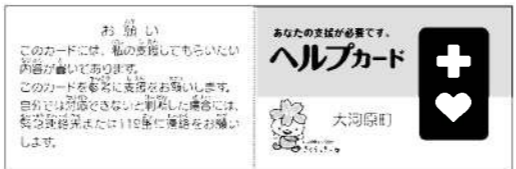
令和3年度の町内小・中学校の「いじめ」「不登校」の発生状況は。

教育課長

いじめの報告件数は小学校で9件、中学校で11件であった。不登校については、小学校で28名、中学校で44名であった。不登校の出現率については県平均を上回っており、大変危惧している。

大沼

保育所の延長保育利用について、利用者から更なる時間の延長保育の要望はな



山崎

予算書には里山林健全化事業委託料として計上してあるが、決算書では温暖化防止森林づくり推進事業委託料と掲載されている。名称変更した理由は何か。

農政課長

県のほうで事業の名称に変更があったため、決算書に変更した名称で掲載した。事業内容に変更はない。

万波 孝子

家族介護用品支給（紙おむつ5000円）を受けた家族が増えている。広報掲載や町内ケアマネジャーへの実態調査を行い、改めて制度の周知を図った結果とあるが町外のケアマネジャーを選んでいる人も

福祉課長

ケアマネジャーへの制度の周知については事業所連絡会があり、近隣のケアマネジャーのかたについてもお話しはさせてもらっている。

万波

児童・生徒にタブレット端末を持ち帰って家庭学習の実現へ向け、インターネット接続環境のない家庭へモバイルWi-Fiルーターの貸し出しを行ったとあるが壊したり、紛失した際の対応は。

万波

児童・生徒にタブレット端末を持ち帰って家庭学習の実現へ向け、インターネット接続環境のない家庭へモバイルWi-Fiルーターの貸し出しを行ったとあるが壊したり、紛失した際の対応は。

高橋 芳男P⑧

- 男性トイレにもサニタリーボックスを
- おくやみコーナーの設置について
- 小学生の荷物の軽量化について

万波 孝子P⑨

- 「国葬」への対応について
- コロナ対策について
- デマンドタクシーについて

佐藤 暁史P⑩

- 内水氾濫について
- ガードパイプの設置について

大沼 忠弘P⑪

- 公園の維持管理について
- 有蓋側溝清掃について
- 事業者支援について

中村 淳P⑫

- 町内通学路について
- 自治体情報セキュリティクラウドトラブルについて

丸山 勝利P⑬

- 宣言都市について

須藤 慎P⑭

- 全国学力状況調査等について
- 子ども家庭支援事業及び公立保育施設保育士の処遇改善について

高橋 豊P⑮

- コロナ禍におけるイベント・事業の開催について

大沼 常次P⑯

- 白石川右岸河川敷等整備事業の今後について
- 中学校の部活動の地域移行について
- 町による「住民満足度調査」実施(予定)について

アクリル板を設置しているため、表情が見えにくい場合があります。
 内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
 (https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/)
 各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。



一般質問 町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもので、今回は9人の議員が行いました。

教育長 誤って破損した場合は、保護者負担ではなく、町が新たに機器を購入して対応している。新規1台5万円。



佐藤 暁 荒川堤防の除草は何回行ったのか。また、ヘビが出現したとの情報もある。対応は。

地域整備課 課長補佐 荒川堤防の草刈りについては年2回シルバー人材センターに委託して除草をしている。ヘビの出現については把握しており、情報が寄せられた際、職員が現地の草刈りを行い対応

大沼 忠弘 いきいきプラザに児童クラブを増設したことで、既存の会議室が当初の目的外で使用されている。準備段階で心配の声はなかったのか。

子ども家庭課 課長 地元住民の声を、理解を得た。し、理解を得た。

大沼 デジタル化の委託料や使用料が増えてきているが、その分職員の負担軽減やコスト

副町長 そうであると考えている。来年度はさらに行政デジタルの取り組みを力を入れていきたい。

〔反対〕 万波 孝子 令和3年度一般会計 解決済みだが、相次いだ不祥事、新理事長は令和4年3月末日に就任、副理事長は不在。こうしたNPO法人に継続して管理運営を担わせることは納得できない。基本協定書には取り消し条文もある。公の施設は町が責任持つて管理運営すべき。

令和3年度国民健康保険特別会計 国保税が高くて払えない世帯が増えている。一方、基金は約5億円に増大している。コロ

ナ禍で暮らしは大変。基金を崩して税引き下げをすべき。やる気があれば実施は十分可能。

〔賛成〕 佐藤 暁史 令和3年度一般会計・令和3年度国民健康保険特別会計 町民の命を守るワクチン接種事業、白石川右岸等整備に関わる道路やスポーツ施設、大きなハード事業である「大河原中学校体育館改修工事」の完了など、様々な事業が盛り込まれている。予算の執行及び事務処理も適正で成果を収めていると捉える。ふるさと納税は大幅な増額で、担当各位の取り組みを高く評価する。

〔国民健康保険特別会計〕 については収納率が前年度比3・5ポイント増。健全経営の

総括質疑

万波 孝子 不祥事が相次いだNPO法人、指定管理者として体育館等、公の施設の管理運営を継続させるのは問題。契約を取り消して現在NPOに勤めている職員を町職員として採用し直営に戻していくべきでないか。

町長 長年の実績、業務改善計画や法人としてあるべき姿の

※採決結果については19ページに掲載。

成果と捉える。NPOについてはモニタリングの強化を期待する。以上のことから賛成。

万波 国民健康保険基金残高は約5億円。一方、回収できず処理した額は1019万円。滞納額は1億4万円。基金を活用し国保税引き下げをすべき。

町長 今進められている国の「県単位化」は同一税率、同一税額を目指している。基金はその時に活用するので慎重に検討したい。

万波 おおがわら商品券の未利用が多い理由は。解決策は。

町長 未利用が多い理由は使用期限切れによるもの。解決策についてはハガキや休日窓口の開設、「おしらせばん」等で再度周知したい。

一般質問

町内公共施設

サニタリーボックス設置を

順次配置を進める



高橋 芳男



小学生の荷物の軽量化
 めると平均6kgと言われている。子どもを健康被害から守るため、対策を進めてはどうか。
教育長 現在、町内すべての小学校において、登下校時の荷物の軽量化を図るため、「置き勉」を認め、家庭で学習する上での必要最小限の教科書等のみ持ち帰るようにするなど各学校で工夫している。



サニタリーボックスの設置で利用しやすい環境を

高橋 前立腺がんや、膀胱がんの患者が使用済みの尿漏れパットを捨てる「サニタリーボックス」を設置する動きが公共施設などで広がっている。
 前立腺がんや膀胱がんは手術後、頻尿や尿漏れの症状が出やすいため、尿漏れパットの着用が多くなり、パットを捨てる場所がないため、外出先から自宅までビニール袋などに入れて持ち帰らざるを得ない人が数多くいる。本町でもサニタリーボックスの設置を進めるべきと考えるがどうか。

町長 現在、本町では役場庁舎及び福祉センターの男子トイレにはサニタリーボックスを設置しているが、他の公共施設にはまだ配置されていない。誰もが利用しやすい環境整備として順次配置を進めていく。

高橋 「おくやみコーナー」とは、住民の死亡に伴う手続きをワンストップで行うサービスのこと。今後さらなる高齢化によって配偶者が高齢となるケースや、親族が遠方または疎遠によるケースが増え、遺族が行う手続きの負担が増すと予想されている。手続きをワンストップで行う「おくやみコーナー」を設置すべきと考えるがどうか。

町長 現在本町では、行政のデジタル化を推進する計画を策定しており、この中で「おくやみコーナー」の設置を含めた通信技術の利用を検討し、住民サービスや利便性の向上、事務の効率化につなげていきたい。

町はどう対応するのか

考えていない(9/7時点)

岸田首相は9月27日日本武道館で安倍元首相の国葬を行うことを決定した。法的根拠がなく憲法違反であることから反対が賛成を大きく上回り集会やデモ



半旗掲揚時

通常時

が全国各地に広がっている。
万波 国葬は憲法14条(法の下の平等)19条(思想・信条の自由)に照らして憲法違反と言えないか。国葬

は安倍元首相の政治を美化し、個人の賛美を国民に強要することに他ならず、民主主義を損なうものと考ええる。自治体に弔意表明の要請があったときは、庁舎、公共施設、学校現場、一般町民に対して、どういふ姿勢で臨むのか。
町長 弔意表明については「公共団体や教育委員会などの関係機関に協力を要する予定はない」としている。本町としては現在のところ考えていない。閣議決定されているので、国葬はすべきでないという立場を表明することは考えていない。



万波 孝子



コロナ対策
万波 町内の医療機関でもクラスターが発生、状況は、仙南医療圏の病床利用率は、
町長 8月14日現在、複数の病棟でクラスターが発生・予定入院の停止や緊急性の低い治療・手術を延期した。病床利用率は公表されていない。確保病床数は仙南14床。
万波 8月22日から学校が再開した。
教育長 学校内での感染は少なく家庭内での感染が多い。学校の感染予防対策については、消毒等の人員を配置して感染予防に努めている。
万波 町は4月から感染者と濃厚接触者を対象に申請があれば食料品を自宅に届けている。周知徹底を。
町長 3000円相当の食料品等を配布している。更に周知していく。
企画財政課長 要望を受けた分について検討する。
 ※9月14日に町長は行政報告で役場庁舎に半旗を掲揚すると変更した。

一般質問

内水氾濫

排水路の浚渫計画は

要望により随時対応する



佐藤 暁史



佐藤 大雨の際に内水氾濫の危険性がある場所は把握しているか。

町長 町内を6ブロックに分割してパトロールを行い、浸水箇所の把握に努めている。

佐藤 防災マップに内水氾濫の危険場所を反映しないのか。

町長 排水路の堆積した泥の浚渫作業の計画はあるか。

佐藤 排水路の泥を定期的に掻くのは重要。予算は確保しているのか。

副町長 要望については現地を確認して実施をしている。

町長 令和5年度には内水氾濫のシミュレーションを行い、令和5年度には内水ハザードマップとして利用できるような努

副町長 パトロールも含め確認していく。要望が出た場合は住民の不安要素を取り除く意味でも取り組んでもらいたい。

町長 令和5年に(仮称)宮城県大河原産業高校が開校する。駅前交差点は小・中学校だけでなく、産業高校の生徒も多く利用する。安全対策のためガードパイプを設置できないか。通学路の中には近くに隧道が無く「国道4号」を通る通学路がある。そのような場所にもガードパイプが必要だと考える。



排水路の泥をかき内水氾濫を防げ

町長 この2箇所の交差点は県道、国道4号は国土交通省が道路管理者。両交差点とも大河原小学校及び大河原中学校の通学路。10月に「通学路等安全対策推進会議」が予定されており、国及び県からの担当者も参加する。必要に応じてガードパイプ設置について要望していく。

佐藤 駅前と国道4号の交差点は前から要望を聞いていた。

町として国に要望を出すことはできないのか。

町長 要望も含め、ガードパイプの設置に繋がるよう努力をしたいと受け止めた。

事業者支援

町長 一般廃棄物収集運搬業、医療機関や福祉事業者、農業者の方などに対する支援事業について本議会に補正予算を上げ、引き続き、国や県の動向も注視しながら取り組んでいく。

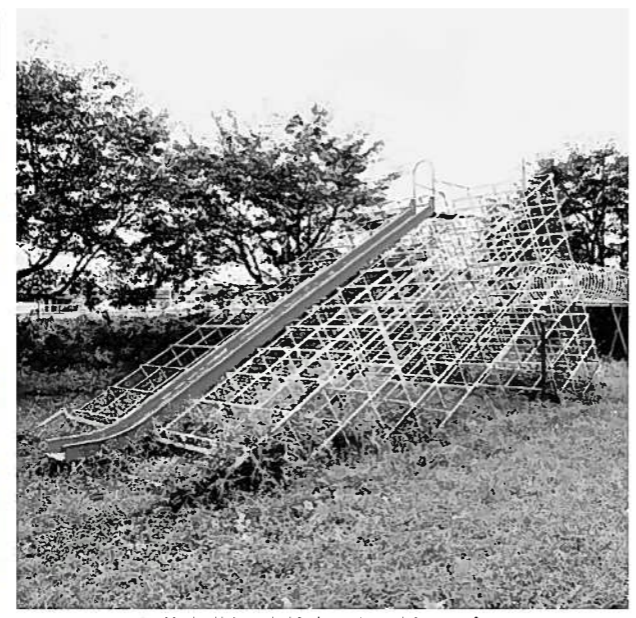
町長 事業者に限らず営業車、設備に燃料を使う事業者も燃料価格高騰の影響を受けている。支援対象の拡大、また新たな対策は何か検討されているのか。

町長 早急に対応すべき課題であると認識のもと、掲載の準備を進めている。

スポンサー制度導入は

研究していきたい

大沼 入札で公園に自販機を設置すれば夜間の明かりや災害時対応型による防災対応や防犯カメラ内蔵型による防犯強化等メリットは多い。設置費用、電気代は業者負担とする



設置後半世紀、点検良でも更新の頃合では

町長 要件する声はないが、近くに自販機がない公園は今後検討の必要があると考える。災害時対応や防

町長 専門業者による定期点検により、

町長 要望並びに職員りまとめ、優先度に応じて清掃を実施している。

町長 側溝清掃 各行政区からの清掃要望には充分対応できているか。



大沼 忠弘



一般質問

町内通学路

農道でも舗装整備を

砂利敷きで管理



中村 淳



中村 本町では、どのような業務への支障があり、誰が対応し、いつぐらいに復旧したのか。ベンダーとの契約は、各市町村で個別に契約しているのか。また、IT化が進んで行く問題が多発すると考えられる。専門部署新設の考えはないか。

町長 8月9日午前1時35分復旧。駅前図書館でシステムサーバーへの接続不能、職員端末からネット閲覧、ネット経由のメール不通。L2WAN回線

町長 以前で費用見積みもできるレベルに育成すべきではないか。

町長 民間の力を借りて、育成まで視野に進める。

中村 業者と対等に話の出来る人材は必要。

は問題なしのため、他との通信には問題なし。企画財政課情報政策係で情報収集と周知のみ行っている。契約は、県主体のため業者への対応はしていない。体制強化は必要。ただし専門部署新設は考えていない。

夏休みも終わり、学校生活が再開された。朝、見守り隊活動の際、小学生や父兄の方と話す機会があり、聞いた中で通学路には整備すべき箇所がある。

中村 町内には、農道を通学路として使っている小学生がいる。一部区間だが、未舗装であり、悪天時の通学の支障になっている。通学路として舗装整備する考えはないか。

教育長 通学路は法に基づき、安全を考慮して学校長が関係者と協議し決めていく。通学路に続く道は保護者が選択して届けている。学校では通学路として認めているが、本町では農道は、砂利敷き管理であり、水たまりなど支障がある場合、砂利を入れ、対応している。舗装する考えはない。

中村 通学路になっていく交差点でも、横断歩道に乗り上げて停車したり、左折車を避けて逆行したりする

中村 生協前の交差点内、他の交差点同様、

教育長 カメラの設置は、歩行者が安全に横断できるよう、小中学校の登下校時などの交通取締りとともに大河原警察署に要請する。注意喚起看板の設置も同様に検討。

通信トラブル 東北6県と新潟県で共同利用する「自治体情報セキュリティクラウド」が、8月8日午前4時半ごろからインターネットの閲覧やメールの送受信ができないう状態が続いていたことについて質問する。



通学路は様々

「千年桜の町宣言」をしてはどうか

方策の一つとして検討する



高山開治郎碑と桜

地方自治体が重要な政策課題などについて、自らの意志や主張、方針を明らかにするものに、都市宣言があるが、本町も昭和37年3月24日に、「交通安全都市宣言」昭和61年3月20日に、大河原町「非核・

平和の町」を宣言している。二つともすばらしい宣言で、町民にとっても大切な宣言だと思われるが、町民に認知されて無ければ宣言の意味がないのではないか。広報して

全町で取り組むべきではないか。

町長 常々人の命を大切にするのを町の文化に出来ないか考えている。これまでのありようから一歩踏み込んで何が出来るか、検討したい。

交通安全都市宣言 宣言からこれまでの交通安全対策の取り組みと、安全対策が取られていない場所の認識と今後の対応はどうか。

町長 「大河原町交通安全指導隊」の設置や「大河原町交通安全母の会」を組織するなど、交通事故の未然防止に努めてきた。宣言の骨子が、現在も

継続され、本町の交通安全対策事業につながっているのとらえている。安全対策が取られていない危険箇所の対応については、通学路検討等安全対策推進会議や民生委員児童委員などの点検により、要望があったものについては大河原警察署等と協議しながら順次対応している。

丸山 非核に対しては国の政策によるものが大きいですが、ロシアがウクライナに対して核兵器の使用をちらつかせている状況や、北朝鮮においては日本全土を射程に収める核兵器搭載可能なミサイルを配備している。非核三原則など、宣言当初とは世界情勢が激変している。「非核・平和の町」宣言については今後見直しはあるのか。

町長 日本を取り巻く環境はなお一層

厳しくなっている。安全保障は国民全体で受け止めなければならぬ。日々変わってきている安全保障環境に合う文面である必要があると思う。今後国策が変わるようなことで、宣言が合わなければ見直ししていく。

丸山 来年で高山開治郎氏が桜を植樹して100年になる。千年桜の町宣言などをしてはどうか。

町長 本町においては、「百石川堤一目千本桜」を町の大切な観光資源として保護やブランド化を目指した事業等を実施し、「一目千本桜の町」の認知度向上のPR活動を行っている。来年度は「一目千本桜の植樹100年」の年であり、多くの皆様に愛される「桜」を目指し、関連事業を展開していく。提言の「千年桜の町宣言」についても、方策の一つとして検討していく。

都市宣言



丸山 勝利



一般質問

全国学力状況調査

大河原町の学力は

県内トップクラスを維持



須藤 慎

全国の小学校6年生と中学3年生を対象に行われた「令和4年度の全国学力・学習状況調査」の結果が7月28日に公表された。報道によると仙台市を除く

表1

小学校	国語	算数	理科
大河原町	67	62	63
全国	66	63	63
宮城県(仙台市除)	62	58	60
宮城県(仙台市含)	64	60	61

宮城県の平均正答率が全教科で全国平均を下回る結果となったようである。

表2

中学校	国語	数学	理科
大河原町	69	48	48
全国	69	51	49
宮城県(仙台市除)	68	45	47
宮城県(仙台市含)	69	49	50

教育長 表1・表2のとおり。
須藤 高い学力を維持向上させるための本町の学力向上策は、

教育長 一つの柱「主体的・対話的で深い学び」のある授業を推進すること、二つめの柱「学習評価」を生かしたPDCAサイクルを確立させること。
須藤 令和2年度から大学教員を招聘しているが、この成果は、

教育長 各校で年2回から3回、大学教員に授業をみてもらい批評を得る機会を設定することでこれまでになく視点からの教材解釈や子どもの理解が深まり、授業の質の向上につながっている。

須藤 令和3年度に「全国学力状況調査(過去問集)」を作成しているが、この成果は、
教育長 一人1冊活用できるよう小学5

年生と中学2年生に配布した。過去問を「学習評価計画」にも位置付け、思考・判断・表現を見る問題としても大いに役立っている。

子ども家庭支援事業について
須藤 「子ども家庭総合支援拠点」が新たに設置され、5ヶ月が経過した。現段階での事業の成果は、
課長 3人の専門職を配置したことにより様々な相談や通告に対してチームで対応することができるようになった。迅速で適切な対応や関係機関との連携、より細やかで充実した家庭支援を行うことができるようになった。

須藤 子どもが遊ぶスペース等を設けた専用の相談室を確保している自治体もあるが、本町でも必要と考える。
町長 「子ども家庭センター」を令和6年4月開設に向け準備を進めるとともに、この拠点となる施設の整備に向けた取り組みも検討すべきと認識している。



大学教授を招聘しての研修会

来年度のイベント開催は 前向きに取り組む

コロナ禍において様々なイベント・事業が中止、制限されている。本町では令和4年度においても桜まつりの中止、花火大会も無観客で縮小された形で



縮小開催となった花火大会

の開催となった。産業・観光に関する事業も中止となっているケースも多く、今後の事業の手法も含めて再考する必要があると考える。コロナ感染は全国的に

拡大しており収束が見えてこない状況にある。今後の取り組みについて、以下質問する。

高橋 来年度桜まつり等のイベントの開催は、
町長 全国的にコロナ禍における各種イベント等においては、感染の影響による中止や規模を縮小した形での開催となっており、本町でも同様の対応となっている。

現在イベント等の開催について県が定めるガイドラインに沿った、感染防止安全計画を策定・提出することが義務付けられており、策

定した計画による感染防止対策を講じた内容でのイベント運営になる。

来年度以降のイベント等について、感染状況や国・県の方針も注視することになるが、コロナ禍を乗り越え地域が元気を取り戻し、経済の活性化を図る観点からも関係団体とも協力し、開催に前向きに取り組んでいく必要があると考えている。

高橋 町事業の今後の取り組みはどうか。
町長 実施の有無について感染状況を確認し県が8月5日に発出した「宮城B.A.5対策強化宣言」の要請に基づき判断している。現在のような感染状況が長期化するようであれば、ウィズ・コロナの時代における新たな取り組みも視野に、

事業を展開していかなければならないと考えられる。
高橋 町が管理している施設利用、町民が実施するイベントについてのガイドラインについて伺う。
町長 感染状況やウィルスの種類に依り、国・県の要請内容などに変更が生じたため作成してこなかったが、その状況に応じ、各施設長、行政區長や集会所管理人に対して、国・県の要請内容に基づいた対策をその都度お願いするとともに、町民に対して広報紙やホームページを活用して周知をしている。



高橋 豊

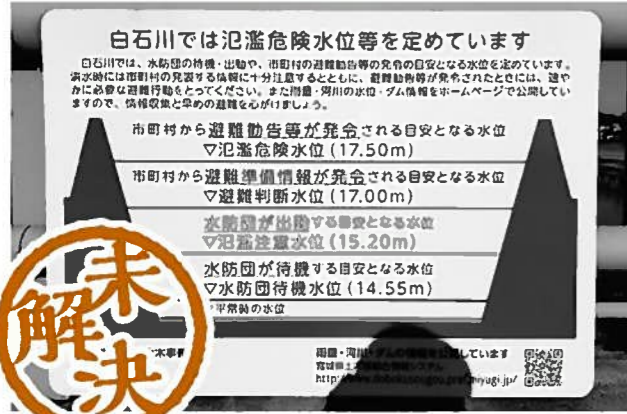


追跡レポート

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の過程について調査・追跡しました。

白石川左岸側 川床浚渫を



提言

白石川左岸の土砂体積の浚渫を行うことで、川の流れが変わり増水しても、氾濫を抑止できるのではないかと。令和2年台風19号においてハザードマップに指定しない避難所が開設されたのは、白石川の越水による浸水被害が想定されることから、指定を避けた個所がある。

議員の提言
(一般質問)

令和3年6月
令和元年12月
平成30年6月

令和4年
9月現在

追跡結果

桜町付近の体積土砂撤去は県により既に行われている。
●令和2年2月に町から大河原土木事務所に対して要望書を提出した。
要望区間：大河原橋から韭神堰
要望内容：土砂撤去及び川床浚渫
回答：県より現状流下断面に支障は出たおらず、断面容量にまだ余裕があることから現時点で撤去は行わないとの回答がある。

死亡手続き ワンストップで対応を



提言

親や配偶者を亡くし死亡届を提出後に、ご遺族は役場にてそれぞれの窓口で事情を説明し多くの手続きを行う。ご遺族の負担軽減を図る必要があるのではないかと。

議員の提言
(一般質問)

令和4年9月
令和3年3月

令和4年
9月現在

追跡結果

「おくやみコーナー」設置の検討が必要であると認識している。現在、行政のデジタル化を推進する計画を策定中であり、その中で「おくやみコーナー」の設置を含めた各業務における情報通信技術の利用を検討し、住民サービス、利便性の向上と業務の効率化を図られる。

白石川右岸整備

一般質問

事業費の総額は

8年度の完成までに17億円



大沼 常次

白石川右岸整備事業について

大沼 今後の年次計画は。

町長 河川敷部分の工事は今年度で終了する。堤内地(田んぼ側)に建設する「賑わい交流拠点施設」の整備は、4年度から行い、8年度に完成を目指す。

大沼 パークゴルフ場の開業予定はいつか。

生涯学習課長 来年8月開業に向けて調整する。

大沼 パークゴルフ場のランニングコースを示してほしい。

生涯学習課長 業務委託をする方向で進めているが、今の段階で示すことはできない。

大沼 施設が完成した後にかかる維持管理費の見直しも立って工事を進めているのか。民間では到底あり得ない。

生涯学習課長 できるだけ早く示せるよう努める。

大沼 この施設全体を維持していくための経費の見直しはしているのか。

生涯学習課長 パークゴルフ場同様、現時点では維持経費の額を示すことはできない。

大沼 ランニングコースの試算がなければ損益計算できないのではないかと。

町長 できるだけ早い段階で示したい。もう少し待つてほしい。

大沼 いったい、この事業が完了するまでにどれぐらいの税金を投入するのか。

町長 国からの補助金や県が行った工事までを含めると約17億円かかると試算している。

大沼 近年、異常気象のたために白石川河川敷が冠水する頻度が高くなっている。冠

水した場合の計画は作れるのか。
町長 台風や豪雨などで被害があった場合は、災害となるので県と協議して復旧していく。

中学校の部活動の地域移行について

大沼 町内の中学校で部員不足のため練習や大会参加ができない部活動数はどのくらいあるか。
教育長 大河原中、金ヶ瀬中ともに一つずつある。

大沼 部活動の顧問は休日に年間何回ぐらい部活動のために働いているのか。
教育長 年間一人平均約29回、最高のは53回あった。

大沼 中学校教員の時間外勤務の状況はどうか。
教育長 教頭は月74時間、教諭が70時間、最高値は月平均103

時間であった。
大沼 現行、休日に部活動を行うとどのような手当てがつくのか。
教育長 休日に3時間以上と2700円の手当が出る。

大沼 部活動の地域移行をどのように進めていくのか。
教育長 アンケートや関係者、団体からの意見を聴取して計画を策定していきたい。



「賑わい交流拠点施設」の建設予定地

全員協議会

令和4年肥料等価格高騰対策について

新型コロナウイルス感染症拡大や深刻化するウクライナ情勢の影響により、農業生産資材の価格が上昇しており、肥料・飼料価格の高騰は稲作等農家や畜産農家など幅広い農業者の経営に大きな打撃を与えている。肥料・飼料価格の動向は今後も不透明かつ、今年度に入ってもなお価格の上昇が続いていることから、肥料・飼料の価格高騰分に対し、肥料等価格高騰対策事業補助金を交付する（農政課）。

対象者（肥料・飼料共通）
町内に住所を有し、稲作・畜産等を主たる事業として農業を営んでいる農業者及び農業団体。

対象農家数
稲作・約400戸
畜産・4戸

交付方法
10月より申請を受付開始し、交付・振込事務についてはJAMやぎ仙南が行い、振込手数料も負担する。



【算出根拠（肥料）】
● 令和3年と比較した10aあたり価格高騰額
3196円×1/3(千円未満切り捨て)
=1000円
● 令和4年産作付見込面積
約400ha×1000円=400万円

◆ 交付単価（肥料）
水稻・野菜等作付面積（不作付地を除く）
10aあたり1000円



【算出根拠（飼料）】
◆ 令和3年と比較した1頭あたり価格高騰額
● 肉用牛
1万7260円×1/5(千円未満切り捨て)
=3000円
令和4年飼育頭数1006頭×3000円
=301万8000円
● 乳用牛
7万2234円×1/5(千円未満切り捨て)
=1万4000円
令和4年飼育頭数55頭×1万4000円=77万円
● 豚
8613円×1/5(千円未満切り捨て)=1000円
令和4年飼育頭数1万7000頭×1000円
=1700万円

◆ 交付単価（飼料）
肉牛1頭あたり3000円
乳用牛1頭あたり1万4000円
豚1頭あたり1000円
※上限1万頭×1000円=1000万円

【子ども家庭課】
民間保育所等物価高騰対策支援事業
町内民間保育所等物価高騰対策特別支援金 567万円
【健康推進課】
医療機関等物価高騰対策支援事業
医療機関等物価高騰対策支援金 450万円
【町民生活課】
一般廃棄物収集運搬事業者支援事業

その他の主な新規支援事業（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当予定・現在交付額未定）
【福祉課】
原油価格・物価高騰対策支援事業費
介護及び障がい者児サービス事業所支援交付金 250万円

燃料高騰対策一般廃棄物収集運搬事業者支援金 770万円

コンビニエンスストア等における証明書等の自動交付（コンビニ交付）

利用開始日
令和5年1月（予定）

利用時間
午前6時30分から午後11時まで

利用できる場所
多機能端末機の設置されたコンビニや一部スーパー等全国5万店舗以上。

利用方法
マイナンバーカードを利用し、簡単な操作で証明書を取得。
取得できる証明書
● 住民票の写し
● 住民票記載事項証明書

● 印鑑登録証明書
● 各種税証明書（課税、非課税、所得）
● 戸籍証明書（謄本、抄本）、戸籍の附票の写し

交付手数料
窓口での手数料と同額。

※利用開始に合わせて「広報おおがわら12月号」及び「町ホームページ」で周知。

導入の効果は？

- ① 住民サービスの向上
全国のコンビニで取得できる
- ② 窓口業務の負担軽減
コンビニ等の多機能端末機で交付までの手続き可能
- ③ 機器管理コストの低減
多機能端末機の管理はコンビニ等で行う

個人情報保護と偽造・改ざん防止のセキュリティ対策は

● システム間は専用のネットワークを利用
● 証明書に複数のセキュリティ対策を施す



オミクロン株対応ワクチン接種について

オミクロン株対応ワクチン接種及び小児（5歳から11歳）の3回目接種が開始されることになる。大河原町でも接種に向け準備を進めている。

接種対象者
初回接種（1・2回目）を完了してから5カ月以上経過した12歳以上の全ての住民大河原町では約1万8000人と想定。

ワクチン接種と供給
オミクロン株と従来株に対応した2価ワクチン。
大河原町では9月下旬に供給を開始。（ファイザー社製またはモデルナ社製のいずれか）

接種間隔
現在は5カ月
今後短縮される可能性がある。

接種回数
一人1回

接種の開始時期
令和4年10月1日（土）
4回目ワクチン接種か

個別接種
各医療機関により異なるので、対応する医療機関に問い合わせる。

接種券について
接種券はこれまでと同じものを使用。※すでに3回目または4回目の接種券が届いており、まだ接種を行っていない場合は、現在届いている接種券を使用するので保管しておく。

接種券について
接種券はこれまでと同じものを使用。※すでに3回目または4回目の接種券が届いており、まだ接種を行っていない場合は、現在届いている接種券を使用するので保管しておく。

小児（5歳から11歳）の3回目接種

接種対象者
2回目の接種から5カ月以上経過した小児
① ワクチンの種類
ファイザー社製小児ワクチン
② 接種回数
追加接種（3回目）として実施
③ 接種の開始時期等
10月22日（土）の集団接種で開始されている
④ 接種券
10月3日発送済み



委員会活動

総務産業常任委員会は8月10日、文教厚生常任委員会は6月21日と7月19日に、それぞれ次の内容について調査を実施したので報告します。

総務産業常任委員会

「ふるさと納税のワンストップ特例制度」について

- ワンストップ特例制度の内容、メリット、受けるための条件、流れ、必要書類、当制度と確定申告の違いについて資料に基づき説明を受ける。
- 大河原町におけるワンストップ特例制度の状況
 総寄付件数 4万9136件
 令和3年度ワンストップ特例申請件数 1万7499件（前年度比1万7201件増）
- 令和4年度ふるさと納税の状況（令和4年4月1日から7月31日まで）
 寄付件数 4954件（前年度比936件増）
 寄附金額 2億2191万円（前年度比4320万円増）

ため池及び用水に対する安全対策と安全柵等設置の実施について

- 概要…農業用ため池 21箇所・防災重点農業用ため池 5箇所・他24箇所
 ② 防災重点農業用ため池について
 平成30年7月豪雨による決壊被害により選定基準が変わった。
- 現地調査…大森ため池（小山田）フェンスの状態を確認
 東入山ため池（新寺）立ち入り禁止ロープの状況を確認

【まとめ】

●ふるさと納税は、今年度も昨年度を上回るペースで増加中。ワンストップ特例申請も増加中。
 ●ため池の安全対策は、幼児にも分かりやすく、柵の高さ、色等見直し検討が必要。

文教厚生常任委員会

「大河原町歴史資料博物館」建設に関する請願について

- 文化財及び民俗資料の管理体制について（柴田町と本町を比較）
- 文化財及び民俗資料の保管・展示
- 柴田町の郷土館の運営及び職員の体制

柴田町

常設展・企画展をおこなっており、時系列に沿った展示がしてある。
 学芸員一名が常勤。館長他担当職員一名、事務職員二名で運営。
 定期的な燻蒸、湿度管理がしてある。年間を通してイベントが企画・開催されている。

大河原町

倉庫に重複しているものなど未整理のまま無造作に入れてある。
 電気も水道も通っていない。（湿度管理は不可能）



【まとめ】

● 収蔵物を早急に収蔵できる場所の確保が必要。
 ● 専門家による選別と収蔵物に応じた管理が必要。
 ● 博物館としての施設を建設する必要はない。
 ● 今回の請願は不採択とするが、収蔵品の保管方法、改善と公開の方法を考慮。
 今後、新たな施設を建設する際には、収蔵品の展示スペースを確保すること等を要望し、次期長期総合計画に反映するよう望む。

インタビュー

町民の声

子育てや町に望むことをお聞きしました。

あたたかく子どもたちを見守ってくれる町

＊プロフィール＊

阿部 優さん（保料区）
 秋田県出身
 【家族】子ども3人（一男二女）
 5人家族

3人目の出産を期に仙台市から主人の地元である大河原町に越してきました。大河原町に住み始めてからまだまだ日は浅いですが、地域の方々の協力や手助けにより充実した日々を送っています。大河原町といえば「一目千本桜」。多くの人がにぎわう「桜まつり」。コロナ禍の影響で中止となりましたが来年は開催されることを願っています。

子どもの成長を一緒に見守ってくれる

「おはよう。いってらっしゃい」、「おかえりなさい。学校楽しかった？」地域の方々に声をかけていただき、あたたかき、優しさを感ずる毎日です。地域のかたも一緒に子どもたちの成長を見守って

18歳まで医療費無料が嬉しい

子どもたちが小さく、けがや風邪等で病院にかかることが多いため、18歳までの医療費助成が非常に嬉しく、ありがたく思っています。大河原町は子育ての支援に大きく力をいれているなど感じます。

公園内に新しい遊具を

大河原町には公園が多く、子どもたちがよく遊んでおりますが、老朽化してしまったり遊具や、遊具が撤去されて遊び場所が少ない公園が見受けられます。公園に新しい遊具を設置して子どもたちが目いっぱい遊べる環境をつくってほしいと思います。



お詫びと訂正

前回（164号）の掲載内容に一部誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。
 ●3ページ
 専決処分報告
 工事請負契約の変更
 南桜公園整備工事
 受注者
 【誤】株式会社斎藤工務店
 【正】株式会社八重樫工務店
 工事請負契約の変更
 白石川右岸盛土部整備工事（その2）
 受注者
 【誤】株式会社八重樫工務店
 【正】株式会社斎藤工務店

議会報告会を開催します

11月12日(土) 午後6時～7時30分

- 中央公民館：地下まちづくりルーム
- オーガ：2階 イベントホール
- 金ヶ瀬公民館：2階 会議室



みなさまのご参加をお待ちしております。

12月議会のお知らせ
 招集日 12月1日(木)・再開日 12月7日(水)
 詳細は議会事務局まで ☎53-2800

こんな町に住みたい



金ヶ瀬中学校 鎌田 大暉さん

私が思う住みたい町は、もともとスポーツが盛んになる町です。小中学生だけではなく、地域の方々や年齢の差を気にせず一緒にスポーツをすることで、みんなと一緒に体を動かせば、楽しいし、地域とのつながりも強まると思います。スポーツのイベントがあれば積極的に参加したいと思います。今はまだ様々な課題があると思いますが、スポーツの力でこの町に住んで良かったと思える人が増えていけばいいなと思います。



金ヶ瀬中学校 木幡 滯さん

私の理想の町は、かゆい所にも手が届く。そのような町です。理想の町にするためには、地域ごとのボランティア活動を積極的にしたり、挨拶の基本である大きな声と笑顔を一回一回丁寧に言うなど、小さなことに気を配ることが大切だと思います。そうすることで、地域の和が強くなり自然と手をさしのべる環境が生まれると思います。新型コロナウイルスが流行している世の中だからこそ、小さなつながりを大切に、町の人一人一人が住みやすいと思える町にできたいなと思います。



今回の表紙は

「ねえ！撮って！」
 10月8日に行われた運動会に向けて頑張っていました。「ヨサコイ」を踊るのを楽しみにしていた年長さんたち。幼稚園最後の運動会は、かけっこ、リレー、ダンス。友達と力を合わせて一人一人の素敵な思い出として心に残ったことでしょうか。これから心身ともに大きく育ってくれることを心から願っています。

(大沼 常次)

編集後記

新型コロナウイルス感染症、物価高騰、経済停滞、デジタル化など、世の中の流れは目まぐるしく早く、何が正解なのか常に不安かられるこの頃です。3年ぶりにオータムフェスティバル、花火打ち上げ会と規模は縮小したものの開催され、多くの皆様はホッとす瞬間を感じることができたのではないのでしょうか。今年も残り2カ月となりました。大小様々な課題に否定ではなく肯定しながら、より良い結果を模索し続け、しかし心にゆとりを持てるよう議会として、委員会として活動に努めて参ります。

(佐久間克明)

- 編集発行責任者 岡崎 隆
 議長 岡崎 隆
 議会広報常任委員 万波 孝子
 委員長 佐久間克明
 副委員長 丸山 勝利
 委員 大沼 常次
 中村 淳
 佐藤 暁史